

ロコアテープ

【この薬は？】

| | |
|----------|---|
| 販売名 | ロコアテープ LOQQA tape |
| 一般名 | エスフルルビプロフェン / ハッカ油 Esflurbiprofen / Mentha Oil |
| 含有量（1枚中） | エスフルルビプロフェン 40mg / ハッカ油 36.2mg |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経皮吸収型鎮痛消炎剤（非ステロイド性消炎鎮痛剤）と呼ばれるグループに属する貼り薬です。
- ・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の産生を抑えることで、鎮痛、消炎作用をあらわすと考えられています。
- ・次の目的で処方されます。

変形性関節症における鎮痛・消炎

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・消化性潰瘍のある人
- ・重篤な血液の異常のある人
- ・重篤な肝障害のある人
- ・重篤な腎障害のある人
- ・重篤な心機能不全のある人
- ・重篤な高血圧症のある人
- ・過去にロコアテープに含まれる成分や、フルルビプロフェンで過敏な反応を経験したことがある人
- ・アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤などにより誘発される喘息発作）のある人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
- ・エノキサシン水和物、ロメフロキサシン（ロメバクト、バレオン）、ノルフロキサシン（バクシダール）、プルリフロキサシン（スオード）を飲んでいる人
- ・妊娠後期の女性

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・非ステロイド性消炎鎮痛剤を長期間使用したことによる消化性潰瘍のある人で、この薬を長期に使用する必要があり、かつミソプロストール等による治療を受けている人
- ・過去に消化性潰瘍になったことがある人
- ・血液の異常のある人、過去に血液の異常があった人
- ・出血傾向のある人
- ・肝障害のある人、または過去に肝障害があった人
- ・腎障害のある人、または過去に腎障害があった人、または腎臓を流れる血液量が低下している人
- ・心機能異常のある人
- ・高血圧症のある人
- ・過去に過敏症と診断された人
- ・気管支喘息のある人
- ・高齢の人
- ・潰瘍性大腸炎の人
- ・クローン病の人

○この薬には併用してはいけない薬 [エノキサシン水和物、ロメフロキサシン、ノルフロキサシン、プルリフロキサシン] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

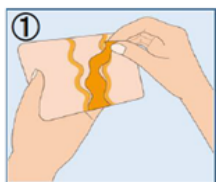
使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。通常、使用回数は、1日1回です。同時に使用できるのは最大で2枚までです。

- ・この薬を2枚貼付したときの体内の薬物濃度は、フルルビプロフェン経口剤の通常用量を投与したときと同程度に達するため、1日貼付枚数は2枚を超えて使用しないでください。
- ・この薬の使用中は、他の全身作用を期待する消炎鎮痛剤との併用は可能な限り避けてください。やむを得ず使用する場合は、医師または薬剤師に相談し、必要最小限の使用にとどめてください。

●どのように使用するか？

- ・患部に貼ってください。
- ・傷や粘膜、湿疹または発疹のある部分には使用しないでください。
- ・皮膚に傷がつかないように、ゆっくりと慎重にはがしてください。
- ・貼付した部分の皮膚の状態に注意しながら使用してください。

<ロコアテープの貼り方>



中央のフィルムだけをはがします。両端のフィルムを付けたままにしておきます。



はがした部分の面を患部に貼ります。



フィルムの片側を中央からはがしながら、シワができないように手で押さえつけて貼ります。もう片方も同じようにして貼ります。

●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れに気付いた時点ですぐに貼ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の治療は病気の原因に対して行われるものではなく、症状を軽減するために行われるものです。
- ・長期間使用する場合は、定期的に検査（尿検査、血液検査、肝機能の検査など）が行われます。
- ・副作用の発現に注意してください。過度の体温低下、虚脱、手足が冷たくなるなどの症状があらわれるおそれがあります。特に高熱のある高齢の人や消耗性疾患の人では、使用後の状態に十分注意してください。
- ・フルルビプロフェン アキセチルで、エノキサシン水和物、ロメフロキサシン、ノルフロキサシンとの併用により、まれに痙攣があらわれるとの報告があります。ニューキノロン系抗菌剤との併用は避けてください。
- ・この薬の貼付により皮膚症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- ・高齢の人は副作用の発現に特に注意し、必要最小限の使用にとどめてください。
- ・妊娠後期の女性は使用できません。
- ・他の非ステロイド性消炎鎮痛剤の外皮用剤を妊娠後期の女性に使用し、胎児動脈管収縮が起きたとの報告があります。
- ・妊娠後期以外の妊婦または妊娠している可能性がある女性は医師に相談してください。
- ・授乳中の女性は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。




| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|--------------------------|--|
| ショック | 冷や汗、さむけ、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下 |
| アナフィラキシー | からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、手足のしびれ、手足のまひ、じんましん、判断力の低下 |
| 急性腎不全 きゅうせいじんふぜん | からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る、血尿 |
| ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん | 全身の著明なむくみ、尿量が減る |

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---|--|
| 胃腸出血 いちようしゅっけつ | 血を吐く、腹痛、血が混ざった便、便が黒くなる |
| 再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ | めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい |
| 喘息発作の誘発(アスピリン喘息) ぜんそくほっさのゆうはつ(アスピリンぜんそく) | 息をするときヒューヒューと音がする、息苦しい、息切れ |
| 中毒性表皮壊死融解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう(テン) | からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水疱(すいほう)、発熱、食欲不振 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん | からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み |
| 剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん | 発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる |
| 意識障害 いしきしょうがい | 意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下 |
| 意識喪失を伴う痙攣 いしきそうしつをともなうけいれん | 意識がなくなる、けいれん |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|---|
| 全身 | 冷や汗、さむけ、からだがだるい、ふらつき、からだのむくみ、疲れやすい、全身の著明なむくみ、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、高熱、けいれん |
| 頭部 | めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛、意識がなくなる |
| 顔面 | 血の気が引く、ほてり、鼻血 |
| 眼 | 眼と口唇のまわりのはれ、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ |
| 口や喉 | しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、血を吐く、歯ぐきの出血、息をするときヒューヒューと音がする、ひどい口内炎、唇や口内のただれ |
| 胸部 | 息切れ、息苦しい、動悸、階段や坂を上る時の動悸や息切れ |
| 腹部 | 腹痛、食欲不振 |
| 手・足 | 関節の痛み、手足のしびれ、手足のまひ |
| 皮膚 | じんましん、あおあざができる、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる |
| 便 | 血が混ざった便、便が黒くなる |
| 尿 | 尿がでない、尿量が減る、血尿 |
| その他 | 判断力の低下、出血が止まりにくい、陰部の痛み |

【この薬の形は？】

| | |
|----------------------|--|
| <p>販売名</p> <p>薬袋</p> | <p>ロコアテープ</p> <p><表側></p>  <p><裏側></p>  |
| <p>形状</p> | <p><ライナー部></p>  |
| <p>大きさ</p> | <p>10cm×14cm</p> |
| <p>におい</p> | <p>特異な芳香がある</p> |
| <p>識別コード</p> | <p>TAISHO 630 (薬袋に記載)</p> |

【この薬に含まれているのは？】

| | |
|------|--|
| 有効成分 | エスフルルビプロフェン、ハッカ油 |
| 添加物 | 流動パラフィン、スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、ポリイソブチレン、エステルガム HG、ジカプリル酸プロピレングリコール、ジブチルヒドロキシトルエン、その他 1 成分 |

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大正製薬株式会社

(<https://www.taisho.co.jp/>)

メディカルインフォメーションセンター

電話：0120-591-810

受付時間：月～金 9:00～17:30

（土・日・祝日、当社休日除く）